

今回は『粗大ごみ』『ふるさと納税』『ロケツーリズム』の3点について質問しました。右側のQRコードから一般質問の動画が見えます。お時間が無い方のためにダイナミックに要約したいと思います。



■粗大ごみについて

永井「粗大ごみをなんで回収しねぐなっちゃたの？」

環境課「旭と銚子と匝瑳で足並みを揃えて料金や回収方法を統一した」

永井「旭市単独で再開できねえの？」

環境「3市の絡みもあるし大幅な見直しをしないといけないので収集は難しい」

永井「直接搬入できない人は業者に依頼しろっていうけど許可業者が14社もあってわかりづらい」

環境「ホームページを見やすくします」

永井「料金の目安書いてくんねえと電話しずれえから目安書いてくんねえ」

環境「業者ごとに料金が違うので難しい」

永井「車を持っていないお年寄りだけでも個別回収してけんろ」

環境「運搬方法がないお年寄りの問題は課題だ。他市の事例を参考に研究していく」



■ふるさと納税について

永井「目標1億5千万じゃ少なくね？もっといけるっしょ！」

企画政策課「4年間の推移や新しい試みをふまえて算出した。私も2億円をもくろんでいる」

永井「肉とか果物を返礼品に増やした方が良くない？どんなPRして増やすの？ターゲットは？」

企画「返礼品を増やしたり写真の撮りかたなどを工夫して魅力あるサイトを通じてPRする」

永井「転出する人にアピールしたらどうっすか？」

企画「転出する時や本市出身の方や縁のある方にPRしていきたい」

永井「成人式(20歳のついで)の時にアピールしたらどうでっか？」

企画「生まれ育った市に恩返しをしたいと思えるように返礼品や使い道を考えてPRしたい」

■ロケツーリズムについて

永井「ロケツーリズムとはなんでっか？」

企画「ロケを受け入れる事によって旭市のブランドを高め観光客や移住者を増やそうという事業」

永井「先行して成功している自治体があったら教えて」

企画「茂原市やいすみ市が推進している。茂原市はスタートしてから2年間で問い合わせ500件 撮影実績100件を超える人気のロケ地になっている」

永井「どのようなジャンルを誘致したいか」

企画「ジャンルにとらわれず、映画、ドラマ、バラエティ、アニメ、漫画などあらゆる映像作品を狙っていきたい」

永井「どんな経済効果がありまっか？」

企画「直接的にはロケ隊の宿泊、飲食などがある。間接的には作品に使われた商品が売れたり、ロケ場所が人気になるなどの宣伝効果がある」

永井「民間はどのようにこの事業に関わるのか」

企画「観光事業関係者、商工会、行政が連携して協議会を作る予定。セミナーを開きノウハウを学んでいく。当面の窓口は企画政策課がおこなう」

※訂正

議会の中で「みやぎ県都城市」と発言しましたが正しくは「みやぎ県都城市」です。陳謝orz

永井見聞録

活動報告

令和4年4月

第3号



旭市を変えるには

市議会議員になって9カ月が経過しました。3月の定例議会で予算をしっかりと目を通した結果わかった事があります。行政には無駄は少ないという事です。確かに費用対効果が低い事業も沢山あります。しかし、誰かにとっては必要な施設であったり制度であったりします。そういう観点で予算書を見ると削減できる部分はあまりありません。もう一つは国や県の補助金に沿って事業が組まれている事です。『こんな事業をやれば補助金を出すよ』という案件が非常に多いです。この場合は優先度が高くなくても75%は国県から出るからやろうかとなります。チェックする時も負担が25%ならば問題ないかと判断になります。つまり、旭市として新しい事をやる力はほとんどありません。市長が公約に掲げた事もお金がかかる事業はなかなか実現できないのはこのためです。さらに、施設の数も減らしていかなければ維持できない状況です。しかし、旭市が徐々に衰退していくのは政治が悪い、行政が悪いで済ませて良いのでしょうか。議会にも行政にも税金を食物にして楽して儲けている悪者は存在しません。旭市にあるのは慣例に乗っ取って粛々と仕事をこなす真面目な公務員と議員がいるだけです。自分はこれを変えたいです。なんでも「前例がない」「近隣市を参考に」「手続きに問題がないが慣例にない」「各方面に根回しをして」こんな言葉ばかりが出てきます。チャレンジや定石にない事はできない、もしくはやりたがりません。これを変えるにはパワーがいります。グループを組んで行政からも議会からも一目置かれる存在にならなければなりません。そのために皆様の力を貸してください。皆様の力がなければ旭市は変わりません。傍観者にならず一緒に考えてください。旭市の未来を。まず、自主財源を増やさなければなりません。そのために一番即効性があるのは『ふるさと納税』です。これから魅力的な返礼品を増やしていきます。市外の家族、親戚、友達にご紹介をお願いします。今年の本市の目標は1億5000万円ですが、3億円を目指しませんか？何かのついででかまいません。「旭市にふるさと納税を」とおすすめしてください。その行動で旭市が変わります！たぶん・・・

この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情、誹謗中傷などございましたらお気軽にご連絡下さい。この発行物に関する市役所へのお問い合わせはご遠慮下さい。

発行元
旭市議会議員
永井孝佳
〒289-2706
千葉県旭市下永井574-1
090-9332-1632
bfnagai@yahoo.ne.jp

令和4年度の目標

ふるさと納税を増やす!

- 魅力的な返礼品
- みんなで宣伝
- 目標3億円
- 市のイメージアップ

旭市の知名度を上げる!

- ロケ隊を誘致
- ロケをしやすい街に
- 聖地を作る
- SNSで奇抜な発信

観光スポットを作る!

- 灯台にキッチンカー
- 灯台→港にジップライン
- 港公園にキャンプ場
- 映えスポットを作る

空き家を有効活用する!

- 空家バンクで探しやすく
- アーティストが改装
- 農業体験の宿泊施設
- 民泊・ゲストハウス

街をキレイにする!

- 海岸をキレイに
- 街と道をキレイに
- 子供にボランティア精神を築く教育を

やりたい事

旭市には沢山の長所があります。農業産出額は全国6位、千葉県1位です。漁港もあり、イワシ、シラス、はまぐり、ヒラメ、アンコウ、磯ガキ、アジ、サバ、タイ、イセエビなどが水揚げされます。10を超える釣り船（釣り宿）もあり釣りのメッカでもあります。豚肉は全国2位、牛肉は千葉県1位、鳥も千葉県1位です。灯台は日本の夕日百選、夜景百選、ちば眺望百景にも指定されています。その他にもサーフィン、干潟八万石、中央病院、温暖な気候など、とても住みやすい地域です。それなのに知名度がない。県内で旭市はどの辺ですか？と聞かれるとガクツとします。できれば「銚子の隣です」と言いたくないです（笑）

そこで、旭市のブランド力を上げる活動、有名にする活動を同時にやっていかなければならないと考えます。具体的には、上に記載した5項目を中心に『魅力的な街づくり』と『効果的な発信』が必要だと思います。ここでは全てを語れません。ホームページやSNSで徐々に説明していきます。皆様の協力がないと実現はできません。自分の子供や孫の未来のために共に頑張っていきたいです。

※ブランドといえば『**九十九里レザー**』という地域ブランドが出来ました！旭市産の豚革を使って旭市の縫製会社が縫っています。財布、カバン、名刺入れ、スリッパなどの商品があります。4月23日にオープンするイオンタウンに入っているお店でも取り扱いがあるそうです。旭市には豚のブランドが20種類ありますが、豚革は『**九十九里レザー**』として統一します。このブランドが全国的に認知されるように宣伝していきたいです。九十九里の道も一歩から！！旭市をどんどん発信していきます(^^)／



港のゴミ拾い

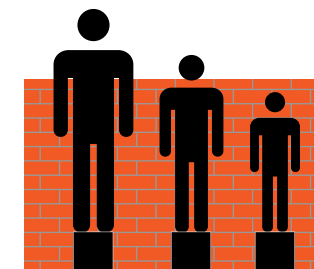
飯岡漁港に長年のゴミがたまり悲惨な状況になっていました。某団体がゴミ拾いをするという事で参加しました。大人7人、子供4人で1時間30分清掃しただけで90袋のゴミと20本のタイヤが集まりました。子供たちも一生懸命頑張ってくれました。

コロナウィルスが落ち着いたら学校単位でボランティア活動を経験してもらいたいです。身近な問題から環境について学べると思います。

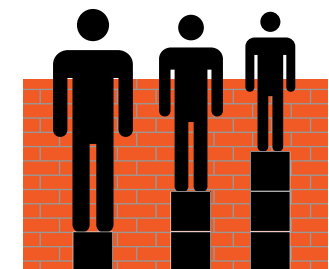
コロナ渦に思う事

コロナウィルスが蔓延して丸2年が経過しました。生活様式は変化して今までの当たり前が出来ない日常が続いております。特に子供達に大きな影響が出ています。入学式、運動会、修学旅行、部活動など全ての行事に支障が出ています。二度とない大事な時期を失っているのが現状です。さらに、マスクで友達表情を読み取るのも難しく、給食では黙食を強いられています。一番の被害者は子供だということは間違いありません。

少し前の話になりますが、小中学生のスポーツは平日の3日間に限られ土日祝日は禁止されていました。この基準に納得が出来なかったので担当課に相談しました。回答は「国と県から指針が出ているので変えられない」との事でした。ならば、平日の体育館やグラウンドの予約を子供優先で取らせてくれないかと相談しました。答えは「予約は平等にしないとイケないので」との事。絶句です。子供が困っているのにルールは変えられないで済みますのですか？大人が譲らなくて良いのですか？大人たちは少人数でなら飲み会を開催し、土日祝日もスポーツをしています。この光景を見た子供たちになんと説明したら良いのですか？子供たちを優先して何が悪いのですか？平等よりも公平な社会を実現していくべきです。困っている人がいたらそれを助ける。そのスタンスが行政には一番大事だと思います。前例踏襲や近隣市の状況なんて気にしないファンキーな行政に変えていきたいです。



平等



公平